

Microsoft Windows Server 2003 HP Integrityサーバrx8620/rx7620 システムに関する重要情報



2004年4月（初版）
製品番号 367873-191
バージョン：2.0-04/02/04

© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Intel、インテルおよびItaniumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本書で取り扱っているコンピュータ ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HPから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア資料、および商業用製品の技術データは、ベンダ標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Microsoft Windows Server 2003 HP Integrityサーバrx8620/rx7620システムに関する重要情報

2004年4月（初版）

製品番号 367873-191

目次

HP Integrity rx8620およびrx7620に関する一般的な問題	5
HP IntegrityサーバにインストールされるWindowsについての、最新情報およびアップデートを確認するには、 以下の手順に従ってください	5
Windows Advanced Server Limited Editionからアップグレードする場合、オペレーティング システムを最初から インストールする必要がある	5
システム起動時のブランク 画面	5
DS2100ディスク アレイがサポートされない	5
HDDのステータス/障害LEDインジケータがない	5
ターミナルサーバをインストールしているシステムで、Smart Setupを使用してソフトウェアをインストールした後、 Low Virtual Memoryエラーが発生する	6
Smartコンポーネントをインストールする際、誤ったテキストが表示されることがある	6
NICケーブルを外したままにすることはできない	7
HP IntegrityサーバにインストールされるWindows Server 2003、Service Pack 1で必要な将来のファームウェア アップデート	7
HP Integrityサーバ8620/7620でのWindows Server 2003の問題	7
インストール対象ではないコントローラに接続されたドライブにWindows OSがインストールされる	7
Microsoft ntbackup.exeのアップデート（Windows Server 2003ファミリ）	7
故障したドライブを交換しても、Smartアレイ530x/640xコントローラが、内蔵HDDアレイの自動再構築を行わない	8
Smartアレイ5302/5304を、ヘッドレス接続経由でブート コントローラとして設定する際の問題	8
整合性チェックの後、Smartアレイ53xx/64xxのイベント ログ警告が記録される	9
イベント ログでのSmartアレイ5302/5304タイムアウト（イベントID 9）	9
Smartアレイ5302/5304のPOSTバナーで、HDDファームウェア アップデート用のOption ROMPaqの使用が 指示される	9
Smartアレイ5302/5304コントローラが、HP Integrityサーバの内蔵ハードディスク ドライブのモード ページ設定を 変更する	10
外付接続では、Smartアレイ5302/5304コントローラは、StorageWorks 4314/4354エンクロージャに接続されている 場合のみサポートされる	10
Smartアレイ6400コントローラが、ADUを使用して正しいHDD IDを確認するように指示するメッセージを 表示する	10
Smartアレイ6404コントローラ（A9891A）をブート デバイスとして使用できない	10
Smartアレイ6400コントローラをホット リプレースできない	11
Smartアレイ64xxまたは53xxが、システムの起動時に自動的にロードされない場合がある	11
分割バス構成のStorageWorks 43xxエンクロージャ（パワー サプライを1台搭載）を特定のSmartアレイ コントローラに接続すると、エラーが報告され論理ボリュームが機能しなくなる場合がある	11
HP Insightストレージ エージェントとアレイ コンフィギュレーション ユーティリティの起動	12
Smartアレイ Option ROM Configuration for Arrays（ORCA）がシステムで最初に検出されたアダプタのみを 設定する	12
Smartアレイ Option ROM Configuration for Arrays（ORCA）が、論理ドライブの作成または削除の際に、F8キーを 押すように指示しない	13
64ビット システム上のInternet Explorerで、Adobe Acrobat Readerバージョン6.0がPDF文書を表示しない	14
Adobe Acrobat Reader 6.0がWindows Server 2003をサポートしない	15
システムにインストールされている管理ファームウェアがサポートされていない場合、Insightマネジメント エージェントが実行されない	15
旧バージョン コントロール	16

インストール時のWindowsブルー スクリーン	16
HP製グラフィックスUSBアダプタがプライマリI/Oシャーシでのみサポートされる	17
EFIシェル レベル出力用にVGAをローカルで有効にする方法	17
EFIシェル レベル出力用にVGAをローカルで無効にする方法	17
EFI Boot Manager	17
EFI Boot Maintenance Manager	17
EFI Boot Maintenance Manager	18
[Smart Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]にアクセスできない	19
ホット スワップPCI	19
Par CLI	19
既存のパーティションのセルの追加または削除	19
パーティションの削除	20
Parstatusローカル パーティション エラー	20
Parstaus読み取りロック	20
parremoveを使用した後のシャットダウン命令	20
parcreate使用時の警告メッセージ	21
frupower使用時のエラー メッセージ	21
fruled使用時のエラー メッセージ	21
EFIに関する補足情報	21

HP Integrity rx8620およびrx7620に関する一般的な問題

HP IntegrityサーバにインストールされるWindowsについての、最新情報およびアップデートを確認するには、以下の手順に従ってください

1. HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）にアクセスします。
2. [HP Integrity rx8620/rx7620]をクリックします。
3. [troubleshoot a problem]をクリックします。

Windows Advanced Server Limited Editionからアップグレードする場合、オペレーティングシステムを最初からインストールする必要がある

問題：Windows Advanced Server LE 1.2からWindows Server 2003の最終リリースにアップグレードする場合、OSを新規インストールする必要があります。

対策：対策はありません。オペレーティング システムを最初からインストールする必要があります。

システム起動時のブランク画面

問題：システム起動時に、3～8分間（実際の時間は、取り付けられているシステム メモリの容量により異なります）、画面に何も表示されなくなることがあります。

対策：これは、正常な動作です。リモート ターミナルを経由することにより、システムに電源を投入して数秒以内にシステム動作を監視できます。

DS2100ディスク アレイがサポートされない

問題：現時点では、DS2100ディスク アレイはサポートされません。現在、HP Integrityサーバでこの製品を動作保証する計画はありません。

対策：HP Integrityサーバでは、DS2100を使用しないでください。

HDDのステータス/障害LEDインジケータがない

問題：システムのHDDバックプレーンには、内蔵HDDのステータス/障害LEDを制御する管理機能はありません。内蔵HDDで障害が発生した場合、ユーザがLEDインジケータを利用して、障害が発生したドライブを正しく特定することはできません。

対策：HDD障害についてMicrosoft OSのイベント エラーが生成されている場合は、ディスク マネージャを使用して、障害の発生したHDDのSCSI IDを確認する必要があります。SCSI IDを使用して、システム内の障害の発生したドライブの位置を確認し、必要に応じて、HDDを交換してください。

ターミナル サーバをインストールしているシステムで、Smart Setupを使用してソフトウェアをインストールした後、Low Virtual Memoryエラーが発生する

問題：システムにターミナル サーバがインストールされている場合、マネジメント エージェントまたはインストール完了後に再起動が必要な別のアプリケーションをインストールしたとき、この問題が発生します。ユーザは、インストールが正常に完了した後、システムをただちに再起動することも、後で再起動することもできます。ただちに再起動を行うオプションを選択した場合、システムはログオフ段階でハングし、数分後、Low Virtual Memoryエラーが表示されます。

対策：

1. インストールが完了したら、再起動を後で行うオプションを選択します。
2. Smart Setupウィンドウを閉じ、[スタート]メニューから、[シャットダウン]、[再起動]の順にクリックしてシステムを再起動します。

Smartコンポーネントをインストールする際、誤ったテキストが表示されることがある

問題：Windowsオペレーティング システムで、Smart Setupを使用して、Smartコンポーネントをインストールする際に、ダイアログ ボックスに、次のように誤ったテキストが表示されることがあります。

1. Smartコンポーネントが実際にはすでにインストールされている場合でも、まだインストールされていないという内容のテキストが表示されることがあります。
2. Smartコンポーネントが、サポートするオペレーティングシステムを正しく示さない場合があります。

対策：この問題は、HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）で入手できるSmartコンポーネントのWebリリースで修正されています。また、この問題は、システムの機能には影響しません。誤ったテキストが表示されている場合でも、Smartコンポーネントは、正常にインストールされ正常に機能します。

NICケーブルを外したままにすることはできない

NICケーブルを外したままにしておくと、NICエージェントによってログに記録され、エラー メッセージが送信されます。

HP IntegrityサーバにインストールされるWindows Server 2003、Service Pack 1で必要な将来のファームウェア アップデート

問題：Windows Server 2003、Service Pack 1をサポートするには、HP Integrityサーバのシステム ファームウェアおよびBMCファームウェアをアップグレードしなければならない場合があります。ファームウェアが最新バージョンにアップグレードされていない場合、Service Pack 1をインストールした後、システムが起動しないことがあります。

対策：HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）にアクセスして、最新バージョンのシステム ファームウェアおよびBMCファームウェアをダウンロードしてインストールしてから、Windows Server 2003、SP1をインストールしてください。この問題を修正するファームウェアバージョンは、Windows Server 2003、Service Pack 1のリリースに先立って、夏季後半にリリースされます。

HP Integrityサーバ8620/7620でのWindows Server 2003の問題

インストール対象ではないコントローラに接続されたドライブにWindows OSがインストールされる

問題：Windows OSのインストールは、対象のブート コントローラのみが取り付けられている状態でサポートされます。これは、Windows OSの既知の制限です。

対策：Windows OSをインストールする前に、対象のブート コントローラ以外のブート コントローラをすべて取り外してください。取り外したデバイスの取り付け位置をメモして、OSのインストール後に取り付けなおす際に参照してください。

Microsoft ntbackup.exeのアップデート（Windows Server 2003ファミリ）

問題：バックアップ時に、Windowsの組み込みテープ バックアップ ユーティリティ（ntbackup.exe）に問題が発生して、バックアップが失敗することがあります。

対策：この問題を解決するには、HP Smart Setup DVDに収録されている修正プログラムを適用します。この修正プログラム（Q817688）は、Microsoft社から提供されています。この修正プログラムは、上記の「問題」の項で説明した問題を修正することだけを目的としています。修正プログラムは、この問題が発生しているシステムにのみ適用してください。

注：現時点では、バックアップ時のテープ スパンニングはサポートされません。Microsoft社は、この問題を確認しており、解決に取り組んでいます。

故障したドライブを交換しても、Smartアレイ530x/640xコントローラが、内蔵HDDアレイの自動再構築を行わない

問題：故障したドライブを交換しても、Smartアレイ530x/640xコントローラは、内蔵HDDアレイの自動再構築を行いません。HP Integrityサーバのバックプレーンは、HDDがホットプラグ対応手順でシステムに挿入された場合に、コントローラアダプタがHDDを認識するのに必要な管理機能を提供しません。このため、故障したドライブを交換しても、コントローラは、アレイの自動再構築を行いません。

対策：以下の手順を利用すれば、手動でHDDアレイを検出して再構築できます。

1. HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）から、利用可能なコントローラの最新ファームウェアをダウンロードしてフラッシュします。

注：SA530xコントローラでは、リビジョンが3.54以降のファームウェアが必要です。SA640xコントローラでは、1.92以降のファームウェアが必要です。

2. HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）から、最新のアレイ コンフィギュレーションユーティリティ（ACU-XE）をダウンロードしてインストールします。

注：ACU-XEのバージョンは6.42.1.0以降でなければなりません。

内蔵HDDアレイが故障した場合は、以下の手順に従ってください。

1. 故障した物理ドライブを交換します。
2. アレイ コンフィギュレーションユーティリティを起動します。
3. [Controller State]フィールドで[Refresh]を選択します。これにより、故障したアレイが再構築を開始します。これは必須の手順であり、ACUによって自動的にには行われません。

注：HDD障害は、HP IntegrityエージェントおよびWindowsのシステム イベント ログによっても検出されます。

Smartアレイ5302/5304を、ヘッドレス接続経由でブートコントローラとして設定する際の問題

問題1：Windows NT4やWindows 2000のTelnetおよびHyperTerminalアプリケーションが、ファンクションキーにASCII文字列を正しくマップしないという問題があります。

対策：リモートターミナルからこれらのアプリケーションを使用して、正しいASCII文字列を送信するには、**Esc**キーを押したすぐ後（1秒以内）に、ファンクションキーの数字を押します。たとえば、**F8**キーに相当するASCII文字列を送信するには、**Esc**キーを押したすぐ後に**8**キーを押します。なお、ターミナルエミュレータがUTF-8に設定されている場合は、**F8**キーを押すことができます。

問題2：電源投入時セルフテスト（POST）の実行中、Smartアレイファームウェアは、バナーに加えて、**Esc**キーを押して続行するかまたは**F8**キーを押してコンフィギュレーションユーティリティを起動するように指示する設定メニューを表示します。リモートのターミナルからヘッドレス構成のシステムを実行している場合、POSTの実行中に、Smartアレイバナーは、設定メニューを表示しません。

対策：POSTの実行中、コンフィギュレーションユーティリティを起動するには、リモート コンソールにSmartアレイ バナーが表示された後、**Esc**キーを押してすぐに**8**キーを押します。

バナーの例："HP Smart Array 5302-128 Controller (Version 3.32) 1 Logical Drive"

整合性チェックの後、Smartアレイ 53xx/64xxのイベント ログ警告が記録される

問題：Event Notificationドライバの今回のバージョンは、論理ボリューム上で整合性チェックが行われた後、Windowsのシステム イベント ログに次の「警告」メッセージを報告します。

"The description for Event ID (24607) in Source (CPQCISSE) could not be found. It contains the following insertion string(s):" **Example string:** "¥Device¥CPQCISSE0, 11, Parity/consistency initialization complete, logical drive 0."

対策：これは、ドライバの次のリリースで修正される既知の問題です。実際のメッセージは、整合性チェックの成功を報告する情報メッセージです。

イベント ログでのSmartアレイ 5302/5304タイムアウト（イベントID 9）

問題：I/O負荷が非常に重い状況では、Smartアレイ ドライバ（cpqcissm）が、システムのイベント ログにイベントID 9エラーを生成する場合があります。

対策：現時点では、既知の解決法はありません。この問題により、データが消失することはありません。

Smartアレイ 5302/5304のPOSTバナーで、HDDファームウェア アップデート用のOption ROMPaqの使用が指示される

問題：現時点では、HP Integrityサーバのお客様が、HP Integrityシステム上のHDDファームウェアをアップデートする方法はありません。

対策：SmartアレイPOSTバナーの後に次のメッセージが表示される場合は、32ビット サーバまたはワークステーションを使用して、HDDファームウェアをアップデートする必要があります。

"Please upgrade firmware on the following drive(s) using Options ROMPaq (available from <http://www.hp.com>):
SCSI Port x: SCSI ID(s) y, z [SW42xx bay(s): y, z.]"

例：SCSI Port 3: SCSI ID(s) 0, 1, 2, 3, 4, 5, 8 [SW4214 bay(s): 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7,]

Smartアレイ 5302/5304コントローラが、HP Integrityサーバの内蔵ハードディスク ドライブのモード ページ設定を変更する

問題：Smartアレイ コントローラが、内蔵ハードディスク ドライブ（例：HP Integrityサーバの内蔵ドライブおよびDS2100/DS2300エンクロージャ（筐体）に収納されているドライブ）のモード ページ設定を変更するという問題があります。

注：Windows上のSmartアレイ コントローラでは、DS2100/2300エンクロージャは、サポートされません。

これらのドライブを、U160 SCSIコントローラなど、Smartアレイ コントローラ以外のコントローラに後で接続すると、ドライブは正常に動作しますが、回復可能エラーが報告される可能性があります。

対策：処置は必要ありません。

外付接続では、Smartアレイ 5302/5304コントローラは、StorageWorks 4314/4354エンクロージャに接続されている場合のみサポートされる

問題：Smartアレイ 5302/5304コントローラは、DS2300やDS21xxエンクロージャとは互換性がありません。

対策：HP Integrityサーバでは、Smartアレイ 5302/5304コントローラは、内蔵ドライブまたは外付StorageWorks 4314/4354エンクロージャにのみ接続して使用してください。

Smartアレイ 6400コントローラが、ADUを使用して正しいHDD IDを確認するように指示するメッセージを表示する

問題：EFI POSTの実行時に、ハードディスク ドライブを同じアレイ コントローラ上の異なるIDの位置に移動させると、システムは、ドライブの位置が変更されたことを報告し、変更前の位置が不明の場合にはArray Diagnostics Utility (ADU) を実行するように指示するメッセージを表示します。

対策：IA64サーバ用のArray Diagnostics Utilityは、後日提供される予定です。Smartアレイ ユーティリティに関する最新情報については、HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）を参照してください。ドライブおよびアレイの移動について詳しくは、『Smartアレイ 6400コントローラ ユーザ ガイド』を参照してください。

Smartアレイ 6404コントローラ（A9891A）をブート デバイスとして使用できない

現時点では、Smartアレイ 6404をブート コントローラとして使用することはサポートされていません。Smartアレイ ユーティリティに関する最新情報については、HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/>を参照してください。

Smartアレイ6400コントローラをホット リプレースできない

問題：次のエラー メッセージが表示される場合は、Smartアレイ6400コントローラをホット リプレースできません。

"The device 'Smart Array 6400' cannot be stopped because a program is still accessing it".

対策：HP Insightストレージ エージェント サービスを再起動して、もう一度Smartアレイ6400コントローラのホット リプレースを試みてください。

Smartアレイ64xxまたは53xxが、システムの起動時に自動的にロードされない場合がある

問題：システムの起動時に、Smartアレイ64xxまたは53xxコントローラが、RAID構成用にロードされない場合があります。

対策：システムは、組み込みデバイスだけをスキャンします。最初に、SmartアレイのオプションROMをロードする必要があります。これは、**search all**コマンドを実行することによって、EFIシェルで実行されます。ユーザは、**search x y**コマンド（search 0 8など）を使用する必要があります。ここで、**x**はセル番号、**y**はPCIスロット番号です。

分割バス構成のStorageWorks 43xxエンクロージャ（パワー サプライを1台搭載）を特定のSmartアレイ コントローラに接続すると、エラーが報告され論理ボリュームが機能しなくなる場合がある

問題：デュアル バス構成のStorageWorks 43xxエンクロージャ（Ultra3デュアル バスI/Oモジュールおよび1台のパワー サプライを搭載）は、特定のSmartアレイ コントローラに接続されると、エラーを報告し、論理ボリュームが機能しない場合があります。StorageWorks 43xxエンクロージャのポートAは、ドライブが交換されていない場合でも、下側のベイ（ポートA、ベイ1～7）に取り付けられているすべてのドライブがホットプラグ リプレースされたという報告を断続的に行うことがあります。この結果、アレイコントローラが論理ドライブの機能を停止するため、データにアクセスできなくなることがあります。また、そのドライブからオペレーティング システムが実行されている場合は、サーバがハングしたりブルー スクリーンを表示したりすることがあります。サーバを再起動すると、ドライブは正常に動作するように見えますが、一部のデータにアクセスできなくなる場合があります。電源投入時セルフテスト（POST）エラー メッセージは表示されません。この問題は、エンクロージャ内のパワー サプライやファンの位置に関わらず発生します。この問題は、Smartアレイ5302またはSmartアレイ5304コントローラに接続されたデュアル バス構成のStorageWorksエンクロージャ モデル4314R、モデル4314T、またはモデル4354R（Ultra3デュアル バスI/Oモジュールおよび1台のパワー サプライを搭載）に影響します。

対策：StorageWorksエンクロージャは、2台以上のパワー サプライで動作させてください。

HP Insightストレージ エージェントとアレイ コンフィギュレーション ユーティリティの起動

問題：デバイス マネージャで、Smartアレイ 6400コントローラのドライバのプロパティを表示すると、拡張された **[Tools]**メニュー バーが表示されます。このバーには、HP Insightストレージ エージェントおよびアレイ コンフィギュレーション ユーティリティを起動するためのラジオ ボタンがあります。このリリースのドライバでは、どちらのボタンも機能しません。

対策：推奨される、HPストレージ エージェントの起動方法は、以下のとおりです。

1. **[スタート]**メニューの**[管理ツール]**ショートカットを開き、**[サービス]**を開きます (**[スタート]**メニューから、**[設定]**、**[コントロール パネル]**、**[サービス]**の順にクリックすることもできます)。
2. **[HP Insight Storage Agents]**という名前のエントリを見つけます。
3. そのエントリを右クリックして、**[開始]**を選択します。

推奨される、アレイ コンフィギュレーション ユーティリティの起動方法は、以下のとおりです。

1. **[スタート]**メニューをクリックします。
2. **[hp System Tools]**をクリックします。
3. **[hp Array Configuration Utility XE]**をクリックします。

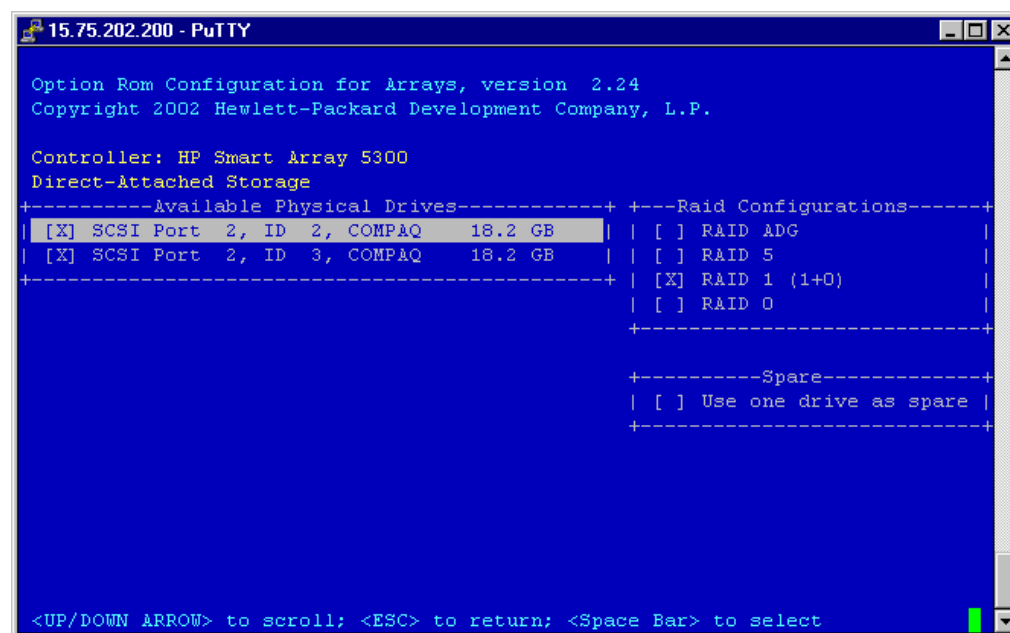
Smartアレイ Option ROM Configuration for Arrays (ORCA) がシステムで最初に検出されたアダプタのみを設定する

問題：ORCAオフライン コンフィギュレーション ユーティリティは、PCIの初期化に基づいて最初に検出されたアダプタだけを設定できます。また、ORCAユーティリティは、他のアダプタが接続されている場合でもそれを登録しません。

対策：システムの出荷時に、論理ブート ドライブが設定済みでない場合は、ORCAを使用して論理ブートドライブのみを設定します。その後オンラインのアレイ コンフィギュレーション ユーティリティを使用して、システム内の以降のSmartアレイ コントローラに接続されている他のアレイを設定します。

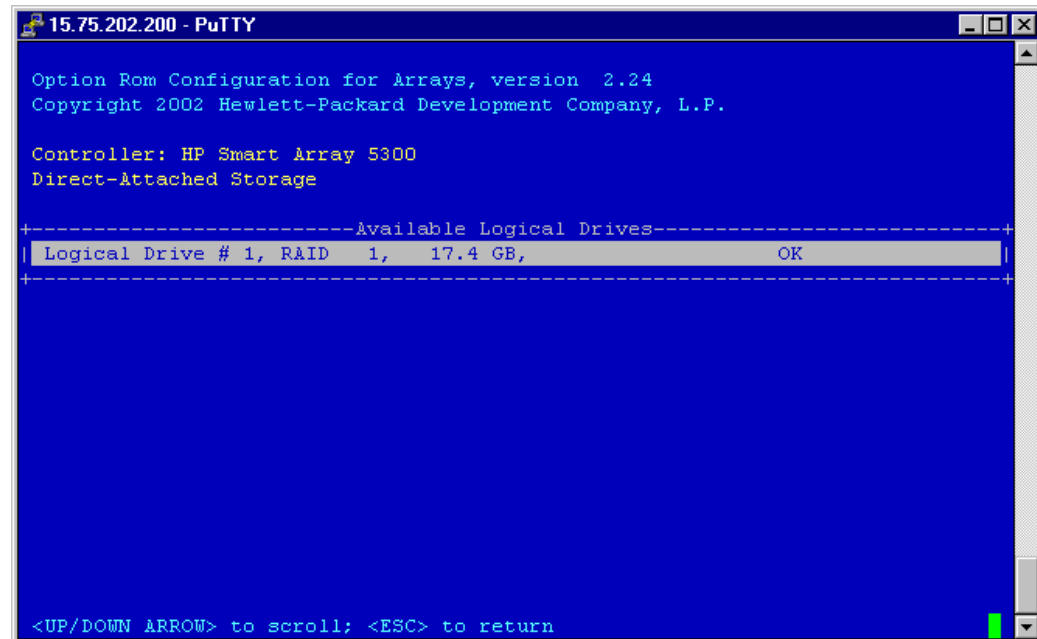
Smartアレイ Option ROM Configuration for Arrays (ORCA) が、論理ドライブの作成または削除の際に、F8キーを押すように指示しない

問題：ORCAオフライン ユーティリティを使用して、Smartアレイ6400コントローラ上のアレイを作成または削除する際、このアプリケーションは、**F8**キーを押して論理ドライブを作成または削除するように指示するプロンプトを表示しません。**F8**キーは機能していますが、画面にプロンプトが表示されません（次のスクリーン キャプチャを参照）。



対策：アレイを設定する場合、物理ドライブとRAID構成を指定した後に**F8**キーを押してアレイを完全に設定してください。

同様に、アレイを削除する場合は、論理ドライブを選択した後に**F8**キーを押して、削除したい論理ドライブの削除手順を続行してください（次のスクリーンキャプチャを参照）。



64ビット システム上のInternet Explorerで、Adobe Acrobat Readerバージョン6.0がPDF文書を表示しない

問題：Smart Setupを使用して、64ビット システムでInternet Explorerを介してPDF文書を表示しようとしても、Adobe Acrobat Reader 6.0ではPDFが正しく表示されません。

対策：Smart SetupをInternet Explorerの32ビット バージョンで開くか、または、別のウィンドウでPDF ファイルを開くようにAcrobat Reader 6.0を設定します。この対策を実行するには、以下の手順に従ってください。

1. **Acrobat Reader**を開き、**[編集]**メニューを使用します。
2. **[環境設定]**を選択します。
3. **[インターネット]**を選択します。
4. **[PDFをブラウザに表示]**オプションのチェックを外します。
5. **[OK]**を選択して、変更を保存し終了します。
6. Internet Explorerを再起動すると、PDFファイルが正しく表示されます。

Adobe Acrobat Reader 6.0がWindows Server 2003をサポートしない

問題：Adobe社のWebサイトからAdobe Acrobat Reader 6.0をダウンロードしようとしても、使用できるプラットフォームのリストでWindows Server 2003 OSが見つかりません。

対策：Adobe社の[テキスト表示のみのダウンロード ページ]からAdobe Acrobat Readerをダウンロードしてください。これにより、Adobe Acrobat ReaderをWindowsの通常の方法でインストールできます。HP Integrityサーバでは、バージョン5.5以下を使用することをおすすめします。

システムにインストールされている管理ファームウェアがサポートされていない場合、Insightマネジメント エージェントが実行されない

問題：HP Integrityサーバで、コアI/Oボードなど一部のハードウェア部品が物理的に変更されている場合、そのファームウェアが最新のものではない可能性があり、そのため、システム内の他のファームウェア コンポーネントと適合しないことがあります。この場合、システムにインストールされている管理ファームウェアは、サポートされていないファームウェア セットがシステムに搭載されていることを示す警告を返します。この結果、Insightマネジメント エージェントが実行されません。

Insightマネジメント エージェントが実行されていない場合、以下のような状態が発生します。

1. [Web-based Management]ページのほとんどの情報が、5分以上、NULLと表示されます。
2. [サービス]ウィンドウに、[HP Insight Server Agents]が開始されていることが表示されません。

対策：上記の状態を確認したら、必ず、以下の手順に従って、管理ファームウェアのリビジョンを確認してください。

1. マネジメント プロセッサのIPアドレスにTelnet経由で接続します。
2. **CM**とタイプして、コマンド メニューを起動します。
3. **Sysrev**とタイプして、ファームウェア リビジョンを表示します。
4. 管理ファームウェアがサポートされていない場合、次の警告メッセージが表示されます。



WARNING: Unsupported Utility Subsystem FW Revision.

この警告メッセージの後に、個々のファームウェア コンポーネント リビジョンのリストが表示されます。

5. この警告メッセージが表示されたら、HPのサービス窓口に連絡して、管理ファームウェア パッケージ全体を更新してください。

旧バージョン コントロール

問題：Insightマネージャ7は、旧バージョン コントロールと呼ばれる機能を組み込んでいます。この機能は、Windows Server用のHPマネジメント エージェントなど最新のソフトウェアを含むレポジトリを備えています。Windows Server 2003 64ビットOSを実行するHP IntegrityサーバにHPマネジメント エージェントがインストールされている場合、インストールされているエージェントのバージョン番号がバージョン コントロール データベースのものより古いと、旧バージョン コントロールは、アップグレードが利用できることを表示します。

対策：次の図に示すアップグレード ステータスは間違っています。HPマネジメント エージェントのバージョン2.00リリースの最初の段階では、旧バージョン コントロールの機能はサポートされません。この機能は、バージョンコントロールデータベースの次のアップデートでサポートされる予定です。

Software Titles	Version Installed	Latest Available
HP Management Agents for Servers - Windows		6.40.0.0, 18-Jun-2003
Foundation Agents - Windows	6.30.16.0, 26-Aug-2003	6.40.0.0, 18-Jun-2003
Server Agents - Windows	6.30.0.9, 27-Aug-2003	6.40.0.0, 18-Jun-2003
Storage Agents - Windows	6.40.1.0, 11-Aug-2003	6.40.0.0, 18-Jun-2003
NIC Agents - Windows	6.30.20.1, 21-Aug-2003	6.40.0.0, 19-Jun-2003

注：HP Integrityサーバのスタート ガイドやセットアップ/インストレーション ガイドでは、以下の問題は説明されていませんでした。このため、以下の各項で説明します。

インストール時のWindowsブルー スクリーン

問題：インストール時に、OsloadOptionsにNOVESAスイッチが付いていないと、Windowsのブルー スクリーンが表示されます。

対策：最初にOSを（テキストセットアップモードで）再起動し、GUIインストールが開始される前にEFI Boot Managerエントリを変更する必要があります。この作業を実行するために、Boot Managerメニューが表示される前に任意のキーを押して、ブートシーケンスを中断させます。EFIシェルにアクセスします。**novesa**スイッチを**OsLoadOptions = /redirect /novesa**に追加する必要があります。**MSutil**ディレクトリの**NVRBOOT.EFI**ユーティリティを使用して、エントリを変更します。ユーティリティを終了し、EFIシェルを終了して、OSブートエントリを選択します。

HP製グラフィックスUSBアダプタがプライマリI/Oシャーシでのみサポートされる

問題：HP製グラフィックスUSBアダプタは、ルートセルに接続されたI/Oシャーシでのみサポートされます。このカードをルートセルに接続されていないI/Oシャーシに取り付けると、カードが予期せぬ動作をすることがあります。

EFIシェル レベル出力用にVGAをローカルで有効にする方法 EFIシェル レベル出力用にVGAをローカルで無効にする方法

EFI Boot Manager

ブート オプションを選択します。

```
Windows Server 2003, Datacenter
EFI Shell [Built-in]
Boot option maintenance menu
```

[Boot option maintenance menu]を選択します。

EFI Boot Maintenance Manager

メインメニューから、操作を選択します。

```
Boot from a File
Add a Boot Option
Delete Boot Option(s)
Change Boot Order
Manage BootNext setting
Set Auto Boot TimeOut
Select Active Console Output Devices
Select Active Console Input Devices
Select Active Standard Error Devices
Cold Reset
Exit
```

[Select Active Console Output Devices]を選択します。

EFI Boot Maintenance Manager

```
Acpi (PNP501,0) uart (9600 N81) /VenMsg (PcAnsi)
Acpi (PNP501,0) uart (9600 N81) /VenMsg (Vt100)
Acpi (PNP501,0) uart (9600 N81) /VenMsg (Vt100+)
Acpi (PNP501,0) uart (9600 N81) /VenMsg (VtUtf8)
Acpi (HWP0002,700) /pci (1|1) /uart (9600 N81) /VenMsg (PcAnsi)
Acpi (HWP0002,700) /pci (1|1) /uart (9600 N81) /VenMsg (Vt100)
Acpi (HWP0002,700) /pci (1|1) /uart (9600 N81) /VenMsg (Vt100+)
Acpi (HWP0002,700) /pci (1|1) /uart (9600 N81) /VenMsg (VtUtf8)
* Acpi (HWP0002,700) /pci (2|0)
```

Acpi(HWP0002,700)/pci(2|0)にチェックがついている場合はVGAをローカルで有効な状態です。
Acpi(HWP0002,700)/pci(2|0)にチェックがついていない場合はVGAをローカルで無効な状態です。

設定をNVRAMに保存して、終了します。

[Smart Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]にアクセスできない

問題：システムの起動時にUSBキーボードで**F8**キーを押しても、ルート セルI/Oシャーシ（コアI/Oシャーシ）のSmartアレイ コントローラの[Smart-Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]メニューにアクセスできません。

1. システムを起動して、EFIシェルにアクセスします。
2. EFIシェル プロンプトで、**search core cell**とタイプします。たとえば、コア セルが0の場合には、**search 0**とタイプします。
3. [Smart-Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]メニューが表示されたら、USBキーボードの**F8**キーを押します。
4. [Smart-Array Option ROM Configuration for Arrays Utility]メニューが表示されます。

注：この状態は、Obsidian上でUSBキーボードを使用してSmartアレイを設定しているときにのみ発生します。MPからのシリアル コンソールは、正常に動作します。

ホット スワップPCI

問題：ホット スワップPCIのサポート

対策：現時点では、ホット スワップPCI機能はサポートされていません。最新情報については、HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）を参照してください。

Par CLI

nParCLIコマンドを使用してパーティションを削除または変更する前に、必ず、以下の作業を実行してください。

既存のパーティションのセルの追加または削除

既存のパーティションのセルを追加または削除するには、以下の手順に従ってください。

1. システムがWindows OSで動作している場合は、シャットダウンします（再起動しないでください）。システムがEFIシェルで動作している場合は、そのまま次の手順に進みます。
2. MPにログインします。
3. MP:CM>プロンプトで**RR**コマンドを発行します。
4. 次に、変更（セルを追加/削除）するパーティションの番号を選択して、**再設定のためにリセット**します。
5. パーティションが再設定のためにリセットされるまで、3～5分間待ちます。
6. セルを追加/削除します。
7. 追加/削除が完了したら、MP:CM>プロンプトで**RS**コマンドを発行します。
8. 次に、リセットするパーティションの番号を選択します。

パーティションの削除

1. パーティションがWindows OSで動作している場合は、シャットダウンします（再起動しないでください）。システムがEFIシェルで動作している場合は、そのまま次の手順に進みます。
2. MPにログインします。
3. MP:CM>プロンプトで**RRコマンド**を発行します。
4. 次に、削除するパーティションの番号を選択します。
5. パーティションが再設定のためにリセットされるまで、3～5分間待ちます。
6. nParCLIコマンドを使用してパーティションを削除します。

Parstatusローカルパーティションエラー

parstatusコマンド使用後、次のメッセージが表示されることがあります。

"Note: The -g option may require up to 2 minutes to complete. Please wait.....
Error: Unable to get the local partition number.

このエラーは、このコマンドで-wオプションと-gオプションを使用すると発生することがあります。-gオプションを使用する場合は、ローカルパーティションがないので、この状態は構文エラーです。

Parstaus読み取りロック

parstatusコマンド使用後、次のメッセージが表示されることがあります。

"Note: The -g option may require up to 2 minutes to complete. Please wait.....
Error: Unable to get read lock for partition.

このエラーは、パーティションにロックが存在する場合に発生します。このロックは、管理者またはアプリケーションによって発行された可能性があります。終了されたアプリケーションによって発行された場合は、parunlockコマンドを使用してロックを削除できます。

parremoveを使用した後のシャットダウン命令

parstatusコマンド使用後、次のメッセージが表示されることがあります。

"The partition must be shutdown (1M) with the reconfig (-R) and halt (-H) options to complete the removal, and to unlock the Stable Complex Configuration Data to allow modification of other partitions."

ご使用のシステムでEFIプロンプトが表示されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。MPメニューに移動し、**RRコマンド**を使用してパーティションをリセットするか、またはEFIシェルで**reset**をタイプすることができます。

parcreate使用時の警告メッセージ

parcreateコマンド使用時に、次のメッセージが表示されることがあります。

"Warning: Unable to determine if the target partition supports cell local memory."

注：これは、正常な動作です。この時点ではparcreateがOSを判別できないため、この警告メッセージが表示されます。

frupower使用時のエラー メッセージ

frupowerコマンド使用時に、次のエラー メッセージが表示されることがあります。

"Error: Cannot power off I/O chassis x/x/x (your chassis number).
Chassis is attached to inactive cell x (your cell number).
Please turn cell power off."

接続しているセルから独立した形でI/Oシャーシの電源を切断しようとする、このエラー メッセージが表示されます。I/Oシャーシの電源を正しく切断するには、セルの電源を切ります。これにより、I/Oシャーシの電源も、自動的に切断されます。

fruled使用時のエラー メッセージ

HP Integrity rx8620/rx7620サーバには、I/OシャーシLEDまたはキャビネットLEDはありません。このため、fruledコマンド使用時に、次のエラー メッセージが表示されることがあります。

"Error: LED operation on cabinet number failed."
"Error: LED operation on component number failed."

EFIに関する補足情報

Intel社の提供するEFI情報は、Intel社のWebサイト<http://www.intel.com/technology/efi/>で入手できます。